

まちかど

アルバム



はじめはちょっとずつ、上手に打てたよ

リファーレンいなば

6月5日(日)、リファーレンいなばで毎年恒例の「リサイクルフェスティバル」が開催されました。会場では、スタンプラリーやフリーマーケットなどが行われ、多くの家族づれで賑いました。

なかでも、廃材を利用した便利台づくりには、小さな子どもも挑戦。スタッフに金づちの使い方を教わりながら、くぎ打ちに精を出していました。きれいな仕上がりを見たときの満面の笑顔がとても印象的でした。

アユ釣り解禁！

河原町 千代川

6月1日(水)、アユ釣りが解禁になりました。この日はあいにくの雨でしたが、その後は天候が回復。心地よい晴れ間の中、解禁を待ち望んでいた多くの釣り人が、河原町内を流れる千代川に訪れました。

まだ小振りなアユも、これから気温が上がるにつれ、どんどん大きくなります。釣り人は感覚を確かめながら久々のアユ釣りを楽しみ、アユの成長に期待を膨らませていました。



癒し空間 古民家でアート展

用瀬町屋住

5月28日(土)～29日(日)、用瀬町屋住の古民家で若手作家ら10人による作品展が行われました。琴浦町出身の写真家 Ringen さんの大小約30点の写真を中心に、自然をモチーフにしたアクセサリーなどの手づくり小物などが展示・販売。

訪れたみなさんは、月明かりの幻想的な写真に思わずため息。ミニカフェでくつろぎながら、古民家のゆったりとした雰囲気の中で、心和むひとときを過ごしました。

「笹巻き」づくりにチャレンジ！

佐治町ふたば保育園

旧暦の端午の節句に近い6月7日(火)、鳥取市立ふたば保育園で祖父母との交流を兼ねた「笹巻き」づくりが行われました。

笹巻きは、自然にあるものを使った保存食で、昔の人の知恵が詰まった文化であると園長先生から教わったあと、笹巻きづくりがスタート。「しゃみせん巻き」などいろいろな巻き方にチャレンジした園児たちは、「ぼく、全部で8個つくったよ」、「私は9個」などと、祖父母との共同作業の成果を嬉しそうに教えてくれました。





「虹スクリーン」で光の不思議体験

青谷地区公民館

5月28日(土)、青谷地区公民館で「科学遊び広場」が開催され、鳥取環境大学の足利裕人先生を講師に、立体虹の観察実験をしました。参加した子どもたちは、黒い厚紙に虹ビーズを貼り付けるなどして「虹スクリーン」を作り、暗くした室内で虹のできる仕組みを観察しました。この日はあいにくの雨で外での観察はできませんでしたが、スクリーンを通して見える7色の光の不思議な現象に、参加した子どもたちは大喜びでした。

浜村温泉の足湯を満喫

気高町浜村

5月28日(土)、気高町の浜村温泉にあるゆうゆう健康館けたか、浜村駅前、ヤサホーパークの3カ所の足湯をめぐる「足湯めぐりナイトウォーク」が行われました。4歳から76歳の参加者40人は、ヤサホーパークの頂上での大声コンテストや、気高町にちなんだクイズを楽しみながら、浜村温泉の魅力を再発見。

小雨の降る肌寒い天候でしたが、参加者は、歩きながら足湯をめぐるうちに足元から体が温まり、健やかな汗をかいていました。



ゆっくり 安全に

福部小学校

6月4日(土)、福部小学校で5年生、6年生を対象とした自転車安全運転の講習会が開催されました。

参加した児童たちは、自転車の安全運転についての心構えを聞いた後、校庭に作られた模擬道路で練習に挑戦。交差点の安全な渡り方や、一本橋やスラロームなど技術運転の練習を行いました。このうち、幅の狭いコースを走るS字走行にはみんな悪戦苦闘。コースからはみ出さずゆっくり走行できたときは大喜びの様子でした。

第7回鳥取県地域づくり大賞受賞

鹿野町

NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会が「第7回鳥取県地域づくり大賞」を受賞しました。これは、「鹿野祭りの似合うまち」をめざして、住民が一丸となって継続的なまちづくり活動に取り組んでいることが評価されたものです。

佐々木千代子理事長は、「この賞は地域のみなさまと受賞したものであり、これからも地域、文化、祭りを大切にしながらまちづくりを推進していきたい」と受賞の喜びを語っておられました。



ジオスポットを探検

国府町

6月10日(金)、今注目を集める山陰海岸ジオパークのジオスポットがある国府町に、県内のジオガイドたちが一同に集まり、交流会が行われました。

「まず見て、体験してみよう」というスローガンのもと、約1700万年前は海底だったと考えられる上地の地層や化石を観察。学識的に特徴のある地層にみなさん見入っていました。また、雨滝や普含寺なども巡り、この地の魅力をその目で確かめ、勉強していました。